

2017年3月期 株主通信

富士ダイス通信

2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日

当社WEBサイトのご案内

最新のIR情報や詳しい情報は当社のWEBサイトに
紹介しております。ぜひご覧ください。

富士ダイス 検索

<http://www.fujidie.co.jp/>

証券コード:6167

2017年4月12日、東京証券取引所 市場第1部に市場変更いたしました。

ごあいさつ

平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は2017年4月12日に東京証券取引所市場第1部銘柄に指定されました。これもひとえに株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。

今後も、東京証券取引所市場第1部上場企業としての使命感をもって、業績の伸長と企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループの発展にご期待いただき、長期的なご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



2017年6月 代表取締役社長 西嶋 守男

▶ 当期の概況

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調にありました。一方、中国をはじめとした新興国の景気下振れリスク、英国のEU離脱問題、米国の新政権の政策動向に加え、北朝鮮問題等の地政学的リスクも高まっており、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは「革新」の年度方針のもと、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。海外向けの熱間圧延ロール、混練工具や製缶金型が好調に推移し、連結売上高は増収となりました。また利益面でも為替差損の減少等により増益となりました。

▶ 来期の見込み

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、中国をはじめとした新興国の景気下振れリスク、英国のEU離脱問題、さらに米国の新政権の政策動向や北朝鮮問題等の地政学的リスクも高まっております。そのため来期の見込みとしては、依然先行き不透明な状況が続くと予想しています。

来期の市場動向について当社の顧客産業分類別に概観しますと、輸送機器、電機、電子部品、および金型・工具向け素材の分野において、当期比で増収を見込んでいます。利益面において経常利益は増益を計画しています。

▶ 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	2017年3月期	前期比	2018年3月期予想	当期比
売上高	16,648	3.7%	16,868	1.3%
営業利益	1,161	20.6%	1,110	△ 4.4%
経常利益	1,194	24.5%	1,214	1.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	855	16.7%	900	5.2%

配当方針

利益の状況、将来の事業展開などを総合的に判断し、適切な利益配分を行うことを基本方針としております。今後は、経営成績および財政状態を勘案した上で、配当性向50%を目処に利益還元を行っていく予定です。

期末配当
22円

次期配当
(予想)
22円

1 超硬耐摩耗工具メーカー

当社は、創業以来、**超硬耐摩耗工具**の製造に経営資源を集中してきました。**塑性加工力学**に立脚した設計から原料粉末の調製、焼結、加工、製品検査まで、世界最高水準の技術と技能による一貫生産体制で、お客様のニーズに最適な超硬合金製品を提供しており、超硬耐摩耗工具業界では長期に亘り国内トップシェアを堅持しています。



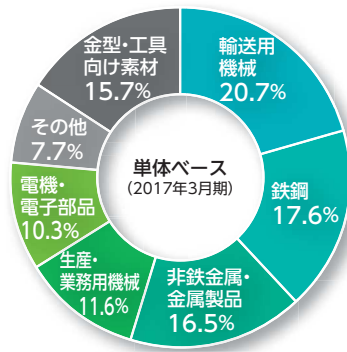
2 競争力の源泉となる力

お客様と緊密な関係を保つために、業界最大の約100名の営業員を擁する直接販売による営業力。高度な**粉末冶金技術**による豊富な**素材開発実績**。熟練した技能者集団と最新鋭の加工・検査設備による高い生産技術力。これら3つの力の総和によって、お客様の要望にタイムリーに対応し、最適なソリューションを提案することで高い競争力を実現しています。



3 取引先は業種も多岐に亘る

当社の超精密、高精度、高品質な超硬製品は、高層ビルや光通信などのインフラ設備から、輸送用機械、コンピューター、医療機器、家電製品、生活用品に至るまで、非常に広範な産業分野における部品製造や素材として利用されています。このように、永年のモノづくりの安全と信頼を支えて築いた取引社数は、約3千社に上ります。



4 創業から現在まで黒字経営

創業以来、大きな景気変動や経済危機等の発生時においても赤字なし。67年間に亘って黒字経営を継続しています。さらに、高い自己資本比率に加えて潤沢な手元資金を保有しており、極めて堅固な財務基盤を維持しています。

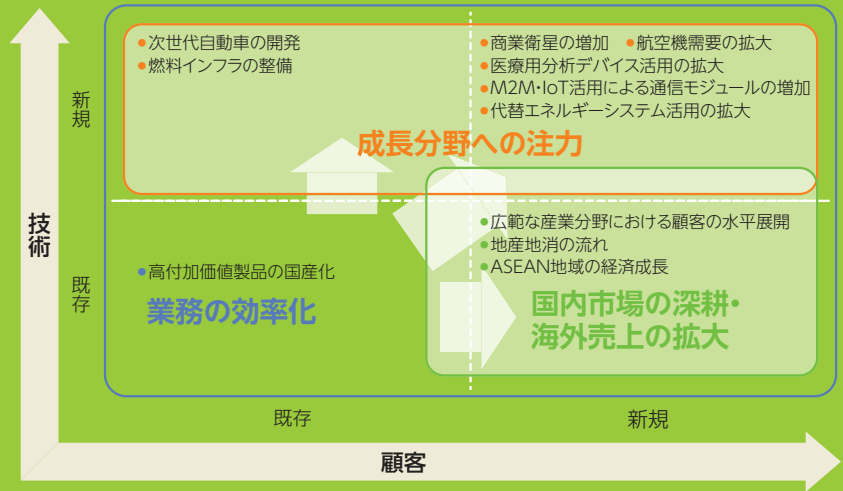
堅固な財務基盤に加え、潤沢な手元資金

- 純資産178億円
- 自己資本比率70.7%
- ネットキャッシュ61億円

中長期的な成長へ、今後目指すものとは

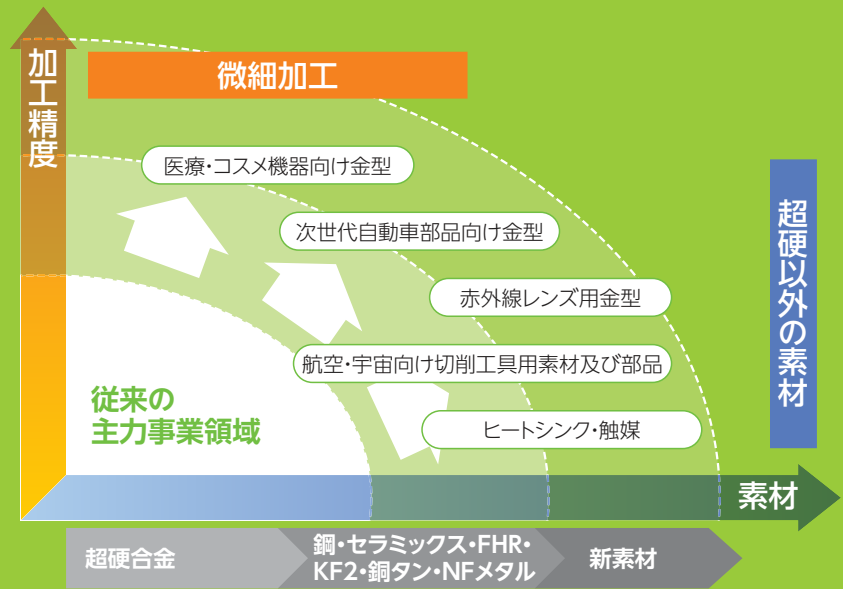
中長期的な成長に向けて

- 業務の効率化による収益率の向上
- 売上(国内・海外)の拡大
- 成長分野への注力



中長期的な成長に向けた研究開発の方向性

- 粉末冶金技術を駆使した新材料の研究開発を強化し、耐摩耗工具以外へ進出
- 超精密加工技術を用いて研究開発を進展させ新しい産業分野を開拓



絶えざる「革新」で未来を切り拓く富士ダイスグループ

当社グループは、東京証券取引所・市場第1部への指定替えを契機として心機一転、持続的成長・発展を目指すと共に、事業を通じて社会的責任を果たしてまいります。

この具現化に向けて、「企業理念」「私たちが大切にしている価値観」「長期ビジョン」を簡潔明瞭に再構成いたしました。

グループ社員一人ひとりがこれらを体現し、絶えざる「革新」で未来を切り拓いてまいります。

【企業理念】

- 事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる
- 人間尊重、人間中心の経営

【基本的な考え方(私たちが大切にしている価値観)】

- 報恩感謝 ● 和 ● 創造と革新 ● 誠実 ● 質実剛健

【長期ビジョン】

1. 世界のモノづくり界のリーディングカンパニー
2. 品性ある企業グループ並びに企業人

富士ダイスは、超硬耐摩耗工具、金型のリーディングカンパニーです。

\おしえて/ **富士ダイス** Vol.2

数字で見る 富士ダイス

当社WEBサイトのご案内

最新のIR情報や詳しい情報は当社のWEBサイトにて紹介しております。ぜひご覧ください。

富士ダイス

検索

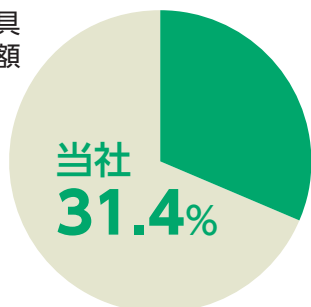
www.fujidie.co.jp/

おしえて富士ダイス①

特定の分野で**国内1位**なのですか？

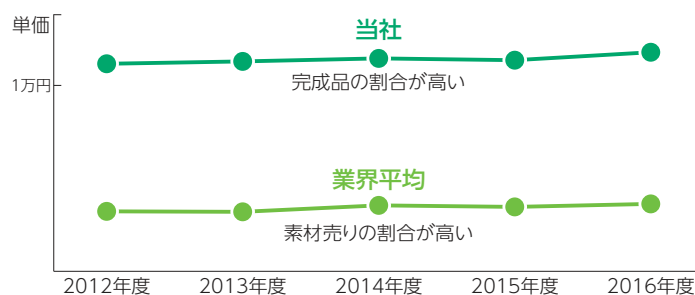
- 超硬耐摩耗工具業界で当社は**長期に亘り、国内トップシェア**を堅持
- 多品種少量の**高付加価値製品**の販売が主で、販売価格は**安定して推移**

■ 耐摩耗工具
国内出荷額
シェア
(2016年度)



出所：日本機械工具工業会

■ 製品の平均単価の推移

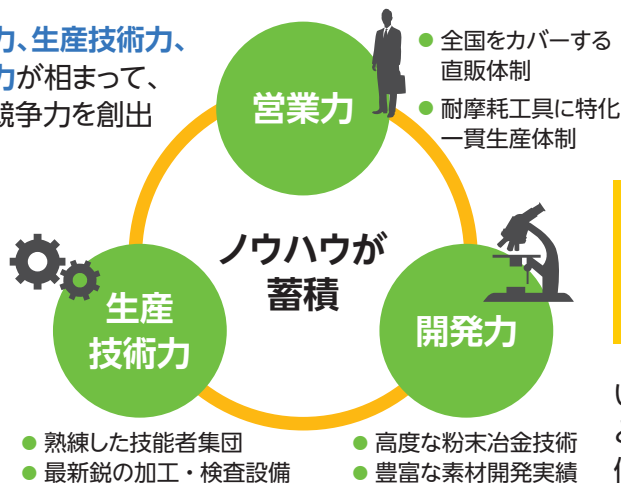


おしえて富士ダイス②

様々なオーダーに対応する**3つの力**とは？

- 設計から原料粉末の調製、焼結、加工、製品検査まで**一貫した受注生産体制**
- **高度な粉末冶金技術と加工技術**
- 様々なオーダーに対し**柔軟に対応が可能**
(多品種・少量生産)

開発力、生産技術力、**営業力**が相まって、高い競争力を創出



高い競争力

幅広い業種の顧客獲得

いつでも、どこでも、何でも間に合う

用語解説

超硬耐摩耗工具

耐摩耗性、高弾性率、高圧縮強度が求められる工程に用いる高硬度、高強度な特性を有する超硬合金製の工具をさします。

塑性加工

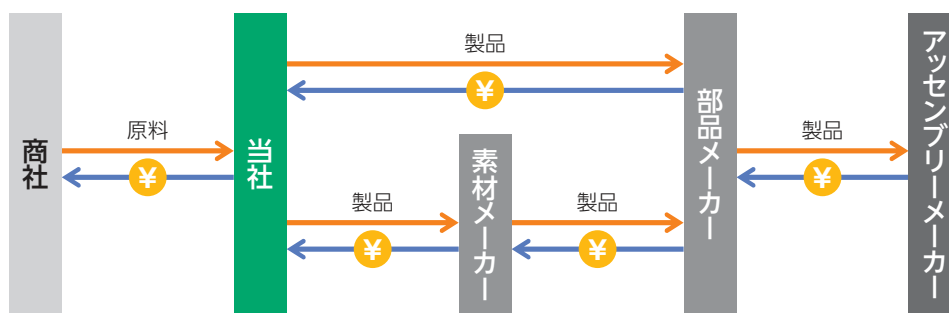
物質に力を加えて塑性変形させ、各種形状に加工する方法。圧延加工、鍛造加工、押出加工、引抜加工、プレス加工等があります。

おしえて富士ダイス ③

取引先が約3,000社もあるって本当ですか？

- 顧客毎の多品種少量のカスタムメイドによる受注生産・直接販売
- 取引先は約3,000社、業種も幅広い
- 特定の系列に属さない独立系のため様々な業界、企業と取引が可能

■ 事業フロー



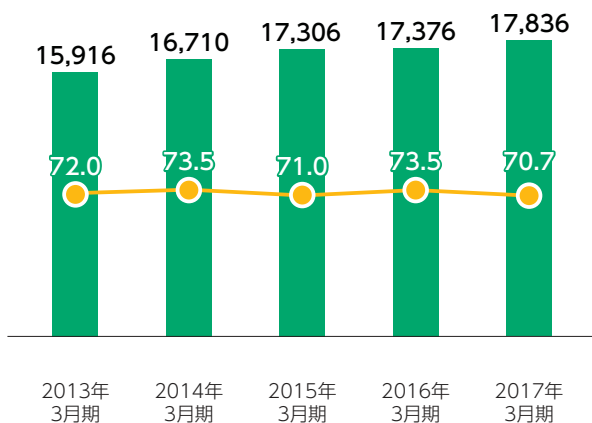
おしえて富士ダイス ④

67年間黒字経営って本当ですか？

- 創業以来現在に至るまで黒字経営を継続し、高い自己資本比率を維持
- 手元資金も潤沢

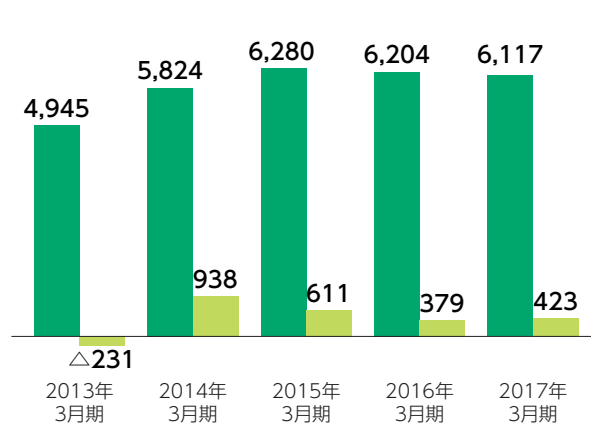
■ 純資産・自己資本比率の推移

■ 純資産(百万円) ● 自己資本比率(%)



■ ネットキャッシュ・フリーCFの推移

■ ネットキャッシュ(百万円) ■ フリーCF(百万円)



粉末冶金技術

金属粉の製造、または金属粉を所定の形状および寸法(粒度)に調製し、さらに焼結工程によって製品を製造する技術。

素材開発

耐摩耗性だけでなく耐熱性、耐食性、非磁性等、多様な機能を持つ新素材(超硬合金、セラミックス、固体潤滑複合材料他)を開発しています。

コーポレートデータ

■連結決算データ

(単位:百万円)

	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月(予想)
売上高	15,041	16,251	16,060	16,648	16,868
営業利益	1,020	1,088	963	1,161	1,110
経常利益	1,088	1,130	959	1,194	1,214
親会社株主に帰属する当期純利益	732	767	732	855	900
1株当たり当期純利益(円)	38.13	38.65	36.63	42.76	45.00
総資産	22,725	24,383	23,633	25,245	
純資産	16,710	17,306	17,376	17,836	

■会社概要

社名 富士ダイス株式会社
 創業 1949年6月6日
 本社所在地 〒146-0092
 東京都大田区下丸子2-17-10
 資本金 164百万円
 拠点 営業所・出張所13 主要生産拠点8
 グループ会社 国内2社 海外5社
 従業員 1,065人(2017年3月期末、連結)

■役員一覧

代表取締役社長	西嶋 守男	社外取締役	本多 實
常務取締役	井出 剛	社外取締役	澤井 英久
取締役	久保井 恒之	常勤監査役	宮川 弘
取締役	千葉 理彦	社外監査役	岸田 一男
取締役	渡邊 祥司	社外監査役	大森 実
取締役	多田 隈 豊		
取締役	春田 善和		

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
 定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
 株主確定基準日 毎年3月31日
 剰余金の配当基準日 毎年3月31日および9月30日
 株式の売買単位 100株
 証券コード 6167
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 三菱UFJ信託銀行各支店においてもお取
 次ぎいたします。
 公告方法 電子公告により行います。ただし電子公
 告によることができない事故その他やむ
 を得ない事由が生じたときは、日本経済
 新聞に掲載して行います。公告掲載URL
<http://www.fujidie.co.jp/>

■IRカレンダー

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	● 期末決算			● 第1四半期決算			● 第2四半期決算			● 第3四半期決算	
	● 招集通知										● 期末配当基準日
				● 定時株主総会							
				● 株主通信							

富士ダイス株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
 TEL:03-3759-7181 <http://www.fujidie.co.jp/>

